



アンコールクライマーズネット (ACN) ニュースレター

by Angkor Climbers net

ACNはアウトドア総合ブランド(株) モンペレより賛同・支援をいただいています

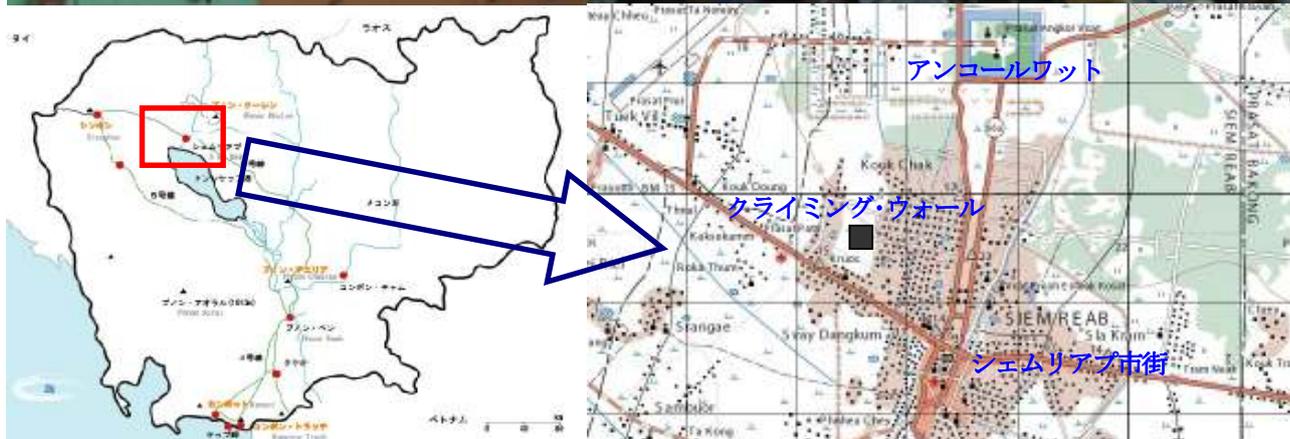
<http://www.angkorclimbers.net/>

2010/2/28 第2号



2/1、カンボジア/シェムリアップに、クライミング・ウォール(※)が完成しました。ご協力ありがとうございました!!

※これまで「アンコールウォール (AW)」と呼んでいましたが、現在、カンボジア政府に活動許可申請中で、今後、名称の変更もあり得ます。ですので、本号では、単に「クライミングウォール」と呼ぶことにしました。ご了承ください。



クライミング・ウォール（プランB）完成まで

2010年2月1日、シムリアプに私たちが計画していたクライミング・ウォール、プランB（屋外自立型）が完成しました。その経過を以下に写真でお知らせします。

●基礎工事（2009/12）



敷地内に元々あった資材小屋を改造した。



基礎の区画を区切る。



土を盛って固め、地盤を造成する。



地盤最下部に礫（石）を敷き詰める。



鉄筋を敷く。



セメントを流し水勾配をとる。



クラック対策のジョイントカッティングを入れる。



セメントが固まってから仕上げ。



基礎（土間スラブ）の完成。

●ウォール資材搬入（2009/12）



Wall支持構造体の建枠が入荷。



ジャッキと角材



クランプ



建枠の溶接箇所をチェック。



単管、コンパネも搬入された。



資材が全部そろった。

●ウォール施工 (2010/1)



コンパネが大き過ぎるので半分に分ける。



構造体を組み始める。



下部のウォールが付きはじめた。



ウォール下部にコンパネを張る。



左端90°壁にコンパネが貼られた。



中央95°壁、右端110°壁にもコンパネが貼られた。



110°前傾部分の難しい工事。



すべての壁にコンパネが貼られ塗装を一回。



塗装2回目。



最上部の塗装2回目。



完成



完成

●クマエキッズ・クライミング教室



●インストラクタートレーニング



・プランBの完成に掛かった経費は以下の通りです (\$100未満、¥10,000未満ラウンド)

| 名称 | 単価 | 数 | 計 | 備考 |
|------------------|----------|---|------------------|------------------|
| 基礎工事費 | | | US\$4600 | |
| ウォール資材費 | | | US\$8100 | |
| ウォール資材費・追加 | | | US\$1800 | レンタル機材を含む |
| 輸送費 | | | ¥90,000 | 日本からの持ち込み |
| 施工者渡航費用 | ¥100,000 | 3 | ¥300,000 | 保険等含む |
| 施工者滞在費 | \$200 | 3 | \$600 | |
| 施工技術者労務費 | | | 0 | |
| 以上、直接施工費合計 | | | \$15100 | +¥390,000 |
| スタッフ宿舍賃借代 | US\$250 | 6 | US\$1500 | 09/12~6ヶ月分 |
| 同、光熱費、水道代など | US\$100 | 6 | US\$600 | 同上 |
| 同、食費 | US\$300 | 6 | US\$1800 | 同上 |
| 交通費、その他 | US\$10 | 6 | US\$600 | 同上 |
| 管理者渡航費 | ¥100,000 | | ¥100,000 | 保険等含む |
| 以上、間接(支援)費用合計 | | | \$4500 | +¥100,000 |
| 合計 (US\$) | | | US\$19600 | |
| 合計 (¥) | | | ¥490,000 | |

・大勢の方から寄付・寄贈をいただきました。お礼申し上げます

2010/2/28 現在までの寄付金累計額は、**¥2,767,600**です。

クライミング・ウォールは、次の方々からの暖かい寄付によって完成しました。ありがとうございました。

中江恵美子様、堀田圭子様、安田至宏様、(株)モンベル様、鎌倉ピースロード様、榎田睦様、有泉重正様、吉富明様、榎田猛彦・時子様、塚内尚子様、岡部茂幸(みち子)様、門多治様、門多真理子様、児島宏典様、永井則子様、浅田信一郎様、清水不二様、清水恵美子様、福神和子様、大澤昭夫様、丸山明子様、清水逸郎様、大岩明子様、高橋千鶴子様、林桂子様、黒川紀子様、栗原俊雄様、才原明男様、沢田千津子様、栗原孝様、三上ゆたか・すみれ様、富田晶子様、野草茶のカリン様、菅修三様、虎本節子様、杉田教夫様、伊藤文博・君江様 (以上、順不同)

以下の方々から、寄贈いただいたクライミングギヤ、その他備品等がクライミング・ウォールで利用されています。ありがとうございました。

菊地敏之様、伊藤文博様、塚内尚子様、中島審也様、棚沢健治様、安田至宏様、北山真様、丸山明子様、栗原俊雄様、森山議雄様、多川敦様、有泉重正様、中江恵美子様、浅井和英様 (以上、順不同)



ウォールの運用には、今後も様々な費用が掛かります。

引き続きみなさまの暖かいご支援をお願い致します。

★★★ 寄付金用口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010
 番号 75286831
 口座名 アンコールクライマーズネット
 ※他銀行よりの送金の場合；
 店名 〇〇八（ゼロゼロハチ）
 店番 008
 預金種目 普通預金
 口座番号 7528683
 口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱東京UFJ銀行

支店名：調布支店
 預金種目：普通預金 口座番号：0081781
 口座名：アンコールクライマーズネット

Webサイトでもご確認出来ます

http://www.angkorclimbers.net/awp_donate.html

☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆

■アンコールクライマーズネット（日本）
 伊藤忠男気付
 〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506
 tel. & fax +81-(0)42-498-2488

■アンコールクライマーズネット（カンボジア）
 Angkor Climbers Net (ACN)
 tel. +855-(0)77-508653, +855-(0)12-1759970
 POBOX 93044
 c/o Moloppor Cafe
 Wat Bou village, Salakomrauk commune
 Siem Reap district, Siem Reap province
 Kingdom of Cambodia

■email letsclimb@angkorclimbers.net

●風対策：土嚢

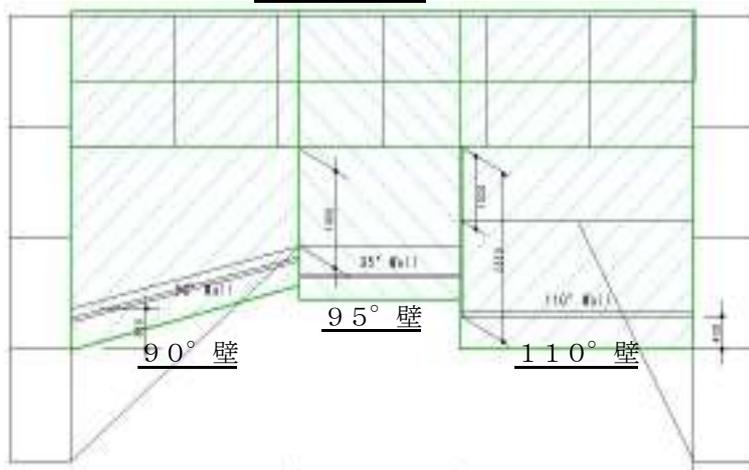
ウォールの支持構造体に用いた単管や建柱の素材が日本製と比べて肉厚が薄く剛性に不安があります。また構造体は日本なら自重で風に耐えられますが、こちらでは全体の重量が軽く、強風を受けて滑り出す可能性を否定できません。そこで支持体の最下部に一袋100kg超の土嚢を40体、積みました。

●残務工事：雨対策

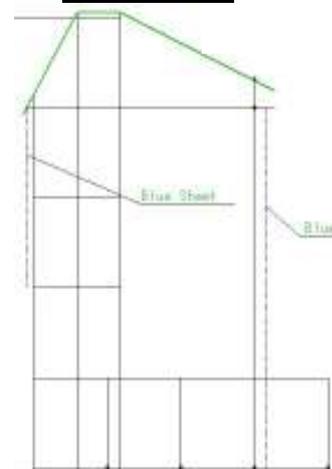
2010/2/28 現在、様々な残務工事を終えましたが、屋根工事だけが残っています。当初プランBでは、雨季に入る頃にウォールの合板パネル（コンパネ）を外してしまう構想でした。しかし工事が進むにつれ、その取り外しは容易な作業ではないことが分かってきました。それに雨季だからといって始終雨が降っている訳ではありません。十分に登れる日もいっぱいあります。そこで支持構造体最上部に簡易なトタン屋根を作り、上からの通常の雨はこれで、さらにウォール本体にはブルーシートを被せて横からの雨を防ぐ。そんな案が考えられました。下記の簡単な図面をもとに、施工業者に費用を見積もってもらいましたがUS\$900と出てきました。無論すぐには納得できません。また、いつもの長い交渉に入っています。しかしすでに再び手持ちの資金が底を尽き始めました。そこで代替案として、モンベルから寄贈いただいたビクタープ、ビッグルーフの利用も検討しているところです。苦難は続きます。



ウォール平面図



ウォール立面図



クライミング・ウォールの運用計画

●活動許可申請

カンボジア政府に、クライミングをスポーツ、及び文化として、また、クライミングウォールを教育施設として認可していただくための申請です！

昨年秋に建築許可申請を行った際、郡知事より州知事へスポーツ施設としての「活動許可申請」を行うよう示唆されました。申請書類を作成して先頃、窓口となる郡知事へ提出しました。しかしこの申請の受理が拒否されました。理由は、当該申請の対象が郡や州のレベルではないとの見解でした。つまりまったく新しいスポーツなので、プノンペン教育省で然るべく担当を得てそこからスタートすべきだと。様々な識者から意見を伺うと、申請時に貼付する資料など万全の体制で臨まないと、万が一突っ返しがあるとずるずると数ヶ月、ひどい場合は数年要することもあるとのこと。現在、運用規約とその関連資料を英語化しクメール語化する作業に追われています。私たちはウォールを外国人観光客利用に限定した観光施設としてではなく、教育施設としてアプローチすることに決めています。子供たちが堂々と誇りをもってクライミングできる場をカンボジアで初めて実現するために重要な一歩を今踏み出そうとしている訳です。



クーレン山ボルダー寺でハイボルダーの課題に取り組む浅井さん

●運用規約等のルール設定

詳細なルール作りにはまだまだ時間がかかるため、2010年2月から1年の限定施行で、安全確保を主眼にした最低限のルールだけ決めることにしました。骨子は以下の通りです。

- ・プライベートウォールを基本として運用
- ・イントラ育成、子供たち、孤児院、障害者団体などの講習を中心に
- ・ただし、正しく自己責任（OWN RISK）を理解したクライマーのビジターは受け入れる（権利放棄書（誓約書）の英語版、クメール語版、日本語版を用意）

※なお、20100301_運用規約暫定版（年間活動計画、運用体制等を含む）は、後日、関係者に配布します（Webサイトでも抜粋を公開予定）

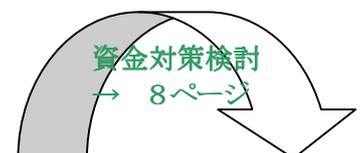
■今後予定される最低必要経費

| NO. | 経費項目 | 摘要 | 発生見込日 | 金額 | 継続費用 | 備考 |
|-----|-------------------|----------------------------|--------------|----------|-----------|----------------------------------|
| 1 | ウォール屋根工事 | トタン+角材の簡易的屋根+ブルーシート | 4/30 | US\$900 | — | 施工業者に依頼した場合 |
| 2 | 借地代 | ウォール敷地、2010年8月に6ヶ月分の支払いが必要 | 7/31 | US\$1200 | — | US\$200/月*6（2010/12までの分） |
| 3 | ACN拠点維持/部屋代 | | 4/30 | US\$750 | — | US\$250*3ヶ月分一括払い |
| 4 | ACN拠点維持/現地運営管理者経費 | 渡航費 | 4/30 | ¥100,000 | US\$300/月 | 渡航費（保険込み）¥100,000、+報酬（US\$300/月） |
| 5 | ACN拠点維持/その他 | 食費、光熱費、電話代、事務用品、移動費、その他 | 4/30 | — | US\$300/月 | 拠点1名常駐を想定 |
| 6 | クライミング指導講師派遣 | 年間2名を半年交代で各常駐 | 9月1日（及び2月1日） | ¥100,000 | US\$300/月 | 渡航費（保険込み）¥100,000、+報酬（US\$300/月） |
| 7 | ウォール保守管理費 | 点検内容によって見積 | — | — | — | 規模に拠る |
| 8 | 現地スタッフ報酬2名 | クライミングインストラクタ | 4/30 | — | US\$200/月 | スタッフは非常駐、~US\$100*2名 |

※1. 上の表から、4月末時点で、必要な資金は合計で、**US\$1650、及び¥100,000**となります。

※2. 同様に、4月より毎月、**US\$1100**の固定出費があります。

※3. 7月には借地代で、次の半年分の支払いがあります。**US\$1200**。



ACNの様々な活動

■クマエキッズクライミング教室

※クマエ=クメール人(カンボジア人)
ウォール施工中の1/23土曜日にカンボジア北西部シソポン(バンテアイミンチエ州)、「神々の寝床エリア」にて、NCCC(新チャイルドケアセンター)の孤児たちを中心にしたクライミング教室を実施しました。通算6回目。ウォール施工メンバーが中心になって子供たちに正確な技術を教えてくれました。いつもより“先生”が多かったので子供たちを大勢呼ぶことが出来ました。往復にマイクロバスを使ったのは初めてです。また、ウォールを使ったクライミング教室を毎週日曜の夕方4時から行なっています。講師はしばらくの間、浅井和英さん(次項で紹介)をお願いしています。



シソポンにて、ラタナにビレイを教える森山さん



インストラクタートレーニングを開始した浅井さん

■クライミングインストラクター育成プログラム

ウォールでのインストラクタートレーニングを開始しています。こちらは毎週土曜の早朝7時から。現時点での講習生は、ACN理事のスムロン(Sem Sarorn)ほか候補者数名。講師はウォール施工チームとしてきていただいた佐久アートウォールのインストラクター浅井和英さんです。浅井さんご自身でも「道楽登攀」という子供たちを中心にしたクライミングスクールを主宰しています。講習方法は大変分かり易く、子供たちへの暖かい接し方が印象的です。

■クラッグ(岩場)開拓

シソポン、「神々の寝床エリア」に10本のルート(リードルート2本)を設定しました。また、そこからジャングルを3分ほど歩いたところにある大きな洞窟で、暗い底から前傾壁を光の中へ抜け出ていく見栄えのするルートが浅井さんによって作られました。グレードは5.12d。今のところエリア最難です。また、彼はスペースシャトルタワーにも、南面に赤蟻の猛攻撃に耐えて「プレデター」5.11aを開拓。しかし、22mでボルトが5本しかありませんし、クリーニングも容易ではないようでトライするひとは要注意です。



シソポンで素晴らしいラインを見出した浅井さん

■ACNグッズ製作販売



初回分のACNクロマーはすでに完売しています。近々初版ものより少し小さめで使いやすいサイズにしたものの販売を開始します。お店等においていただける方がおりましたら、是非ご紹介ください。また、販売を引き受けていただける方、ご面倒ですが、ご連絡ください。お持ちします。無論、直販も可能です。購入をご希望の方は、早めにご連絡ください。よろしくお願いいたします。ACNグッズは理事の高木が勤務するプロレン・クマエ(カンボジアの伝統的な手織布の継承と発展を担う民間機関)とのコラボ品です。

■トポ

シソポンのトポに前述の新ルートが加わっています。カンボジアで比較的ポピュラーなルートと、私たちの開拓した岩場のルートを書いたACN(オリジナル)トポを、シムリアブ連絡所に常備しています。どなたでも閲覧できます。ACNトポが現在カバーする岩場は、プノンペン至近のプノンチエリア、カンボジア南部カンポット、シムリアブ至近のプノンクーレン、同じくシソポンです。



ボルダー寺にて。坊主たちの協力を得て、課題を解決



■ACNが紹介されている雑誌

- ★岳人 2008年1月号(NO.727)、山と溪谷 2008年11月号、ロックアンドスノー44号及び45号、登山時報 2009年2月号(NO.408)、OUTWARD (モンベルクラブ会員誌) 2009年9月号(NO.45)、山と溪谷 2009年10月号、岳人 2009年11月号(NO.749)、登山時報 2009年11月号(NO.417)、フリーファン (日本フリークライミング協会誌) 2009年秋号(#060)
★岳人 2010年1月号より「カンボジアの旅と暮らしとクライミング」を連載中

クライミング・ウォールには下記の方から譲っていただいたホールドが使われています
ありがとうございました。(順不同)

クライミングジム・ビッグロック様、アート・ウォール様

!! 資金対策検討

■運営費用の工面

以下の案を検討しています。みなさまのご協力をお願いします。

- ・スタディツアー受け入れ (子供たちとのクライミング交流会) による資金収集
- ・ビジターからのクライミングウォール利用料 (寄付金)
- ・クライミングギヤ貸し出しによる資金収集
- ・デイパス (岩場情報提供、トポ利用料、もしくは販売) 及び岩場案内による資金収集
- ・ACN会員積極募集、及び会費徴収

key person

松本清嗣 (まつもとときよし) さん



シソポンの岩場にて寄進する松本さん

コミュニティ開発を主課題にする国際NGOるしな (※) の代表。ACN発足時より環境・住民対応の相談役として顧問をお願いしています。今回のウォールプロジェクトでは縁の下の力持ち的存在でした。松本さんがいなければたぶんどの工程も頓挫したことは間違いありません。終盤では、懸案の土嚢積み自ら買って出て見事に実現しました。政府軍とクメールルージュの小競り合いが続いていた93年にるしなを立ち上げました。その前年、CRS (カソリックリリーフ サービス) という世界77ヵ国でプロジェクトをやっている大きな組織で訓練を受けています。北大では中国哲学を専攻。名高い?北星余市高校に国語教師として赴任しました。様々な経験の積み重ねで醸成された大きな存在感が僕らのプロジェクトをしっかりと支えてくれたのです。感謝を込めて。(伊藤) ※正式名: Leucaena Communication Japonesia

contents

editor's note

- 01 110° 壁を登るスレイトウーイ11才
- 02 クライミング・ウォールの完成まで
- 06 クライミングウォールの運用計画
- 09 ACNの様々な活動
キッズクライミング教室
クライミングインストラク
ター育成プログラム
岩場の開拓、その他

・理事のスモロンは 3/15 に結婚式を控えて毎日多忙な日を送っていました。もう何ヶ月も前から胃の具合が良くないというので僕が付き添って州立病院へ行き診察してもらったら胃潰瘍と判明。通院一ヶ月と医師に言われました。薬代も診察代も高く驚きました。彼がなぜ病院に行かなかったのか。無理も無い気がします。保険のない社会です。オウンリスクって受け入れられるでしょうか。とはいえ、カンボジアのクライミングは、細々ながらスタートラインに立った、そんな感じです。(Chu)

©禁無断転載

アンコールクライマーズネットニュースレター

2010年2月号 NO.2 2010年2月28日発行

非売品

発行人 伊藤忠男

編集人 伊藤忠男

発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506

tel 042-498-2488 fax 042-498-2488

http://www.angkorclimbers.net

※写真、地図、イラストはすべて ACN
オリジナルコンテンツです